

2026年12月期

第3四半期決算説明資料

ノバシステム株式会社

証券コード 5257

2026年10月30日

INDEX

- 01** エグゼクティブサマリー
- 02** 2026年12月期第3四半期 決算概要
- 03** 2026年12月期 業績予想、配当予想
- 04** A I 成長戦略 進捗状況
- 05** Q & A
- 06** Appendix

エグゼクティブ サマリー

01

挑戦は未来を変える

行動指針



Work Smart

Learn Well

Play Hard



nova system

think,challenge,advance

主なターゲット

保険会社・金融機関
などエンタープライズ
企業がメイン



リソースの特徴

業界慣習を理解した
深い専門性

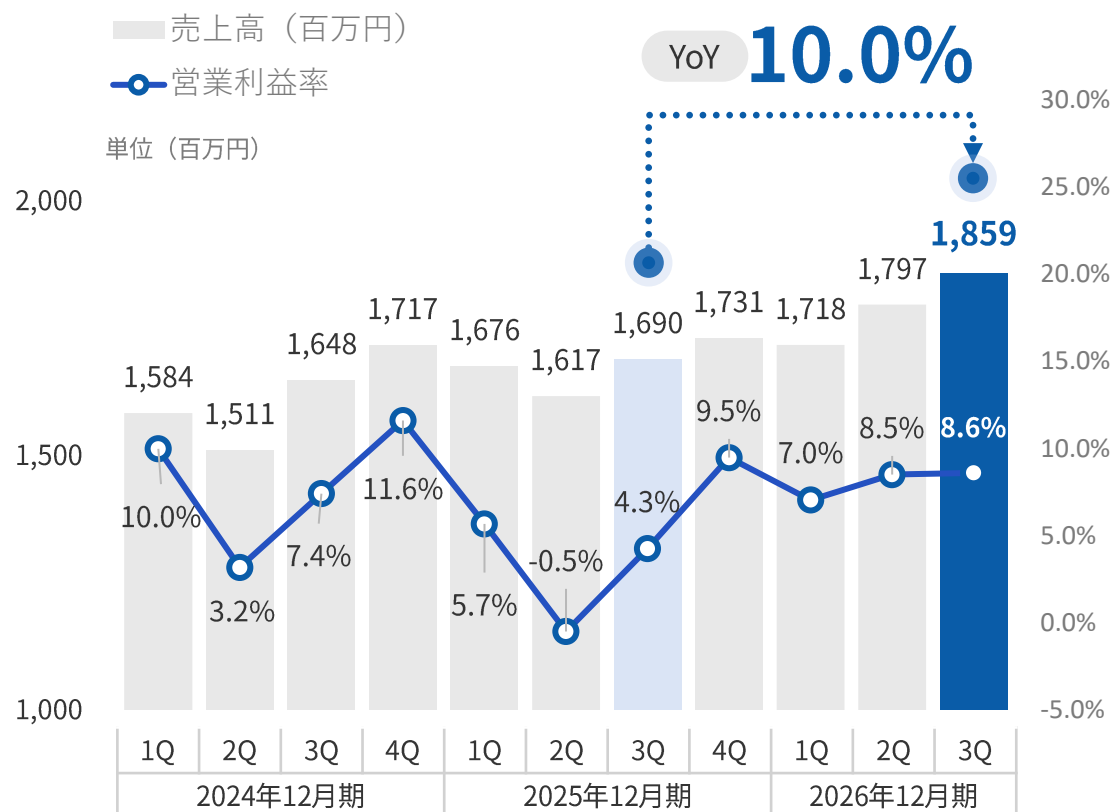


システム開発

不足する優秀な
AI人材を中心に増員し
システム開発を提供

売上高伸長、利益は大幅に回復 営業利益は通期予想比70.4%で進捗、前年同期比+170.4%

売上高・営業利益率 四半期推移



第3四半期 実績 (累計)

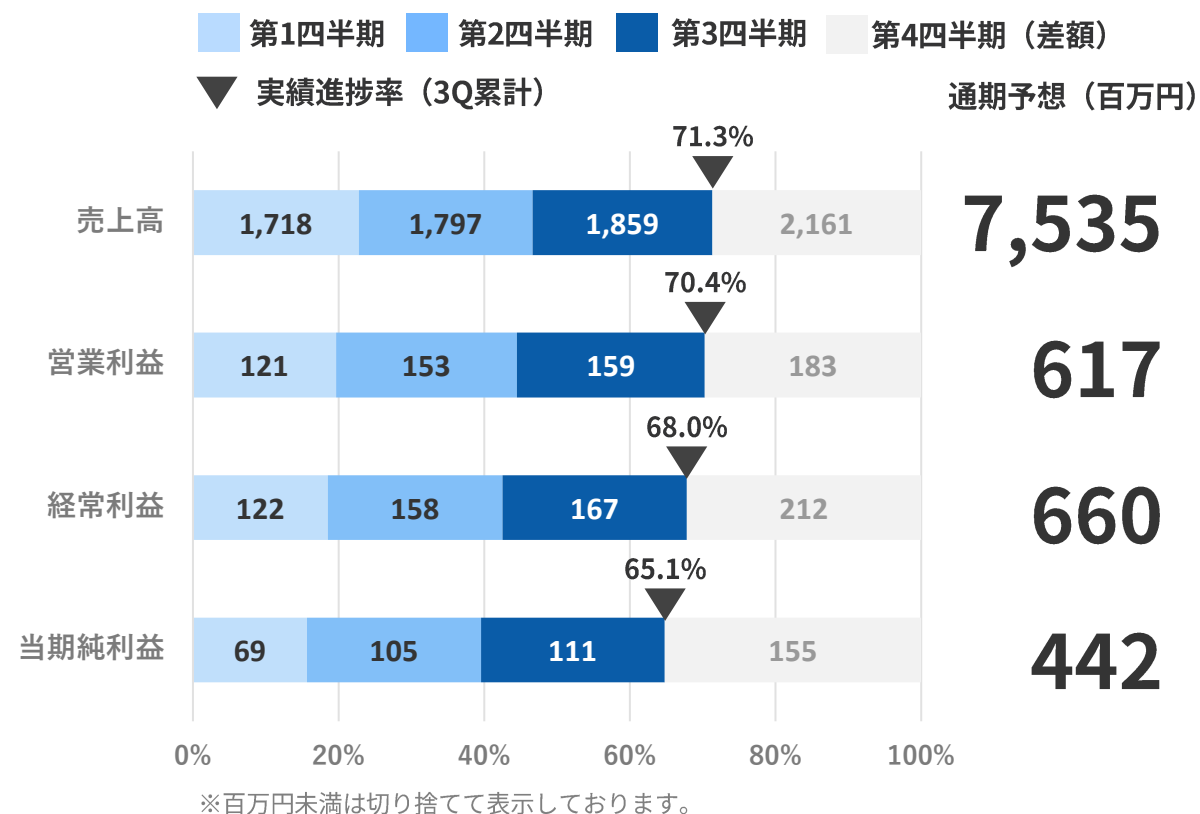
営業利益は前年同期比で大幅増益

単位(百万円)	通期予想	3Q累計	通期進捗率
売上高	7,535	5,374 (前年同期 4,984)	71.3%
営業利益	617	434 (前年同期 160)	70.4%

- ① 増収と原価率改善で、収益性が大きく回復。
- ② 営業利益・経常利益・当期純利益は、通期予想達成の見込み。

通期予想の達成に向け、第4四半期も引き続き積み上げを進める 営業利益・経常利益・当期純利益は、通期予想達成の見込み

● 通期予想に対する四半期別進捗



通期予想の内訳（3Q累計+4Q）

通期予想の修正は無し

（百万円）	① 3Q累計	② 4Q差額	③ 通期 （①+②）
売上高	5,374	2,161	7,535
営業利益	434	183	617
経常利益	448	212	660
当期純利益	287	155	442

四半期業績の推移（数表）

増収と収益性の改善で、営業利益率は3.2%から8.1%へ回復

売上高	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	3Q累計
2026/12期	1,718	1,797	1,859	-	3,515	5,374
前年同期比	2.4%	11.2%	10.0%	-	6.7%	7.8%
2025/12期	1,676	1,617	1,690	1,731	3,294	4,984
2024/12期	1,584	1,511	1,648	1,717	3,095	4,744
2023/12期	1,333	1,257	1,405	1,426	2,590	3,996
2022/12期	1,071	1,114	1,156	1,284	2,185	3,342

営業利益	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	3Q累計
2026/12期	121	153	159	-	274	434
営業利益率	7.0%	8.5%	8.6%	-	7.8%	8.1%
2025/12期	95	△7	72	164	87	160
営業利益率	5.7%	△0.5%	4.3%	9.5%	2.7%	3.2%
2024/12期	158	48	122	198	206	329
2023/12期	166	73	155	95	239	395
2022/12期	51	83	58	135	135	194

ポイント	
1	売上高：増収が続く 3Q累計は前年同期比+7.8%
2	営業利益：2.7倍に回復 3Q累計は前年同期比+170.4% 営業利益率3.2% → 8.1%
3	営業利益率：四半期で改善進む 1Q 7.0% → 2Q 8.5% → 3Q 8.6%

※単位：百万円（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

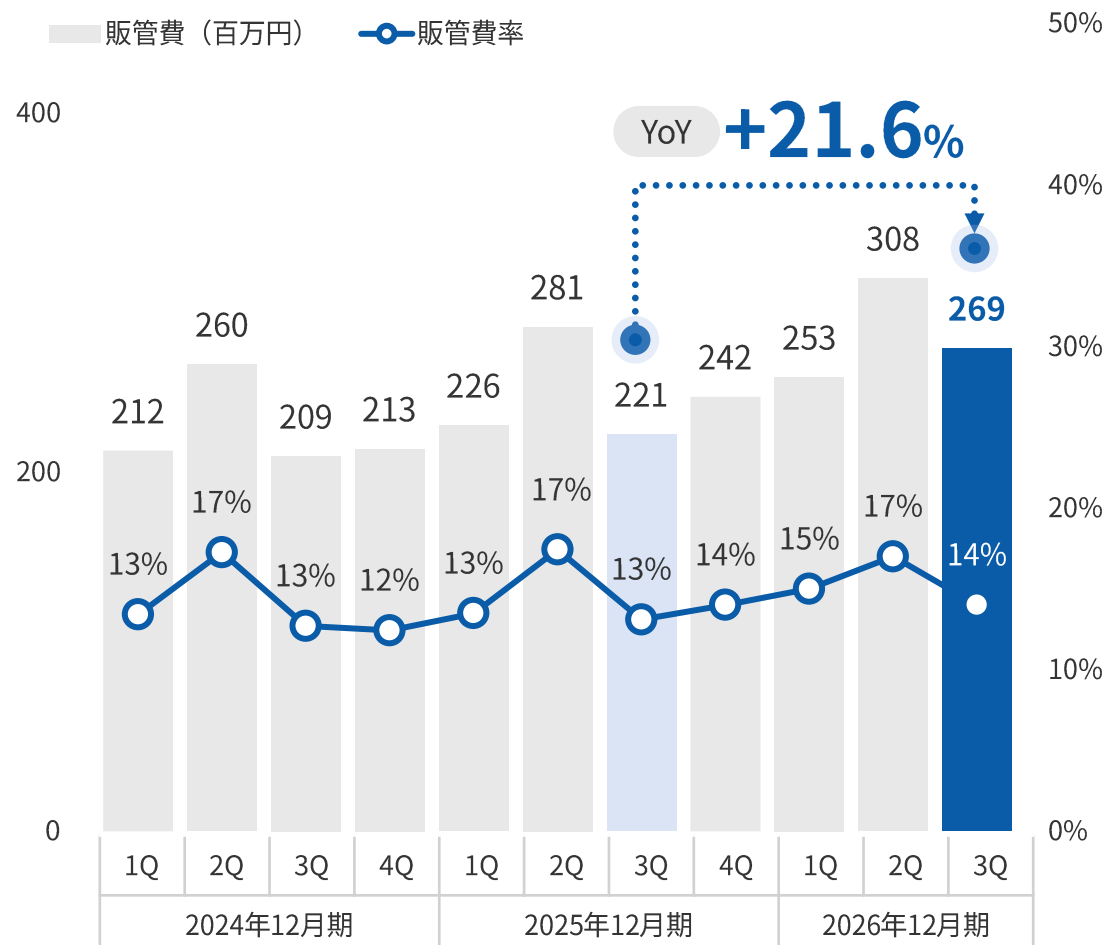


2026年12月期 第3四半期 決算概要

システムインテグレーション事業を中心に増収、収益性が大きく改善

(百万円)	2025年12月期 3Q実績（累計）	2026年12月期			
		3Q実績（累計）	YoY	通期予想	対通期予想進捗率
売上高	4,984	5,374	7.8%	7,535	71.3%
└システムインテグレーション	4,900	5,285	7.8%	-	-
└クラウドサービス	83	89	6.7%	-	-
売上総利益	890	1,265	42.2%	-	-
販売費及び一般管理費	729	831	14.0%	-	-
営業利益	160	434	170.4%	617	70.4%
営業利益率	3.2%	8.1%	4.9pt	8.2%	-
経常利益	179	448	149.3%	660	68.0%
特別利益	0	1	210.4%	-	-
特別損失	-	27	-	-	-
当期純利益	120	287	139.5%	442	65.1%

第3四半期は計画内で推移、通期も期初計画内で着地見込み



① 淀屋橋オフィスの賃借料が今期から新たに発生

採用増加・組織強化のため開設した淀屋橋オフィスの賃借料が、今期から発生

② 積極的なキャリア採用で採用費が増加

キャリア採用を積極的に進めた結果（50名入社）、採用費が増加

③ AI導入拡大に伴う費用増加

AIライセンスや、研修費用などAI導入に伴う投資コストが発生

採用活動は概ね順調に進捗

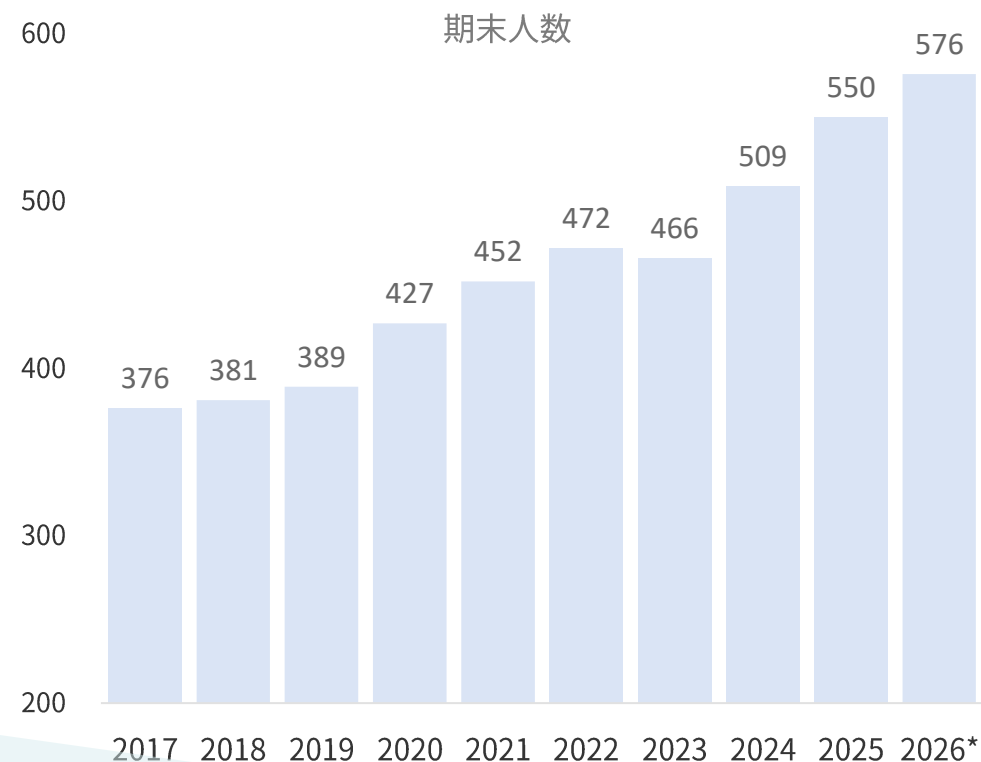
淀屋橋オフィス開設による就業環境の充実化、採用競争力の向上、人材定着への寄与を見込む

新卒採用・キャリア採用

新卒 **26** 名入社

キャリア **50** 名入社
(来期入社内定者は含まず)

社員数の推移



*2026年第3四半期までのデータ

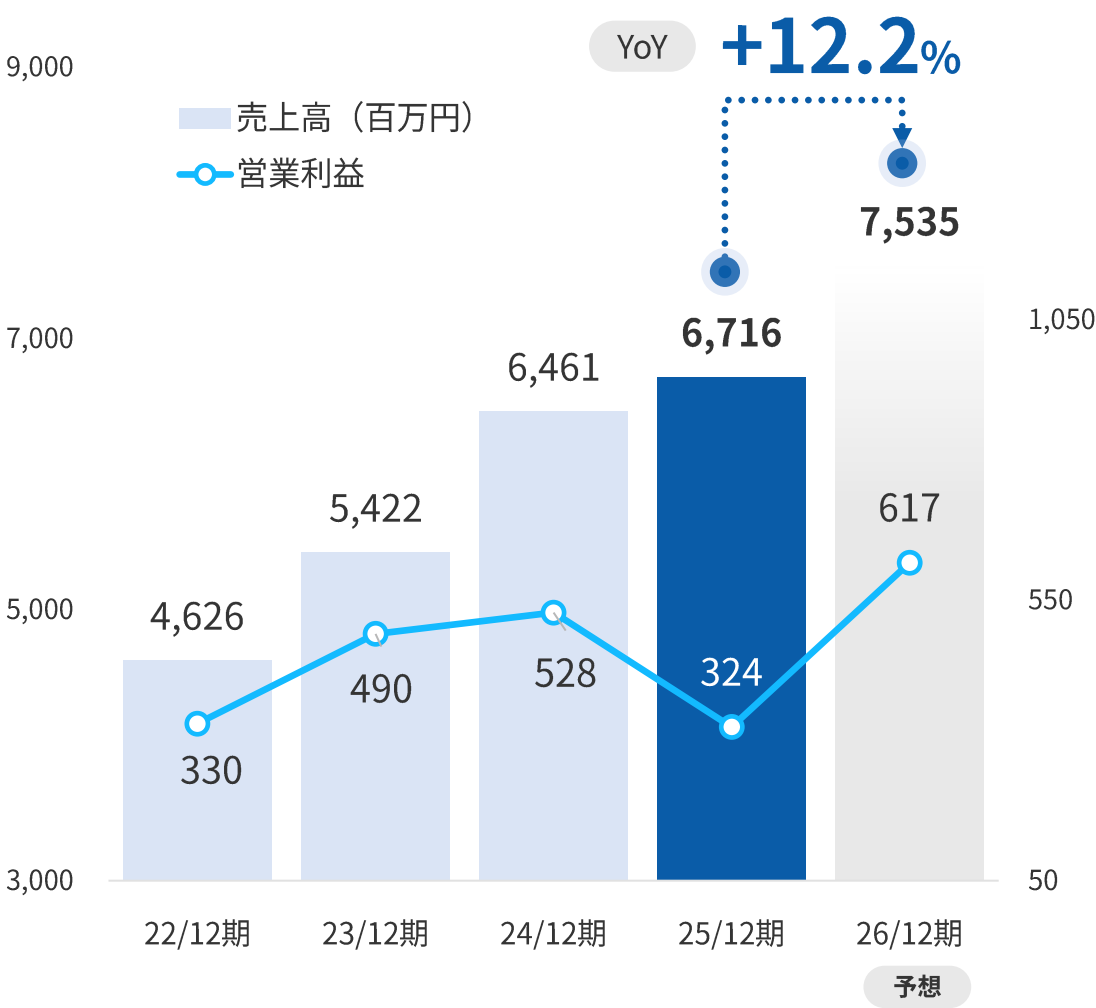


2026年12月期 業績予想、配当予想

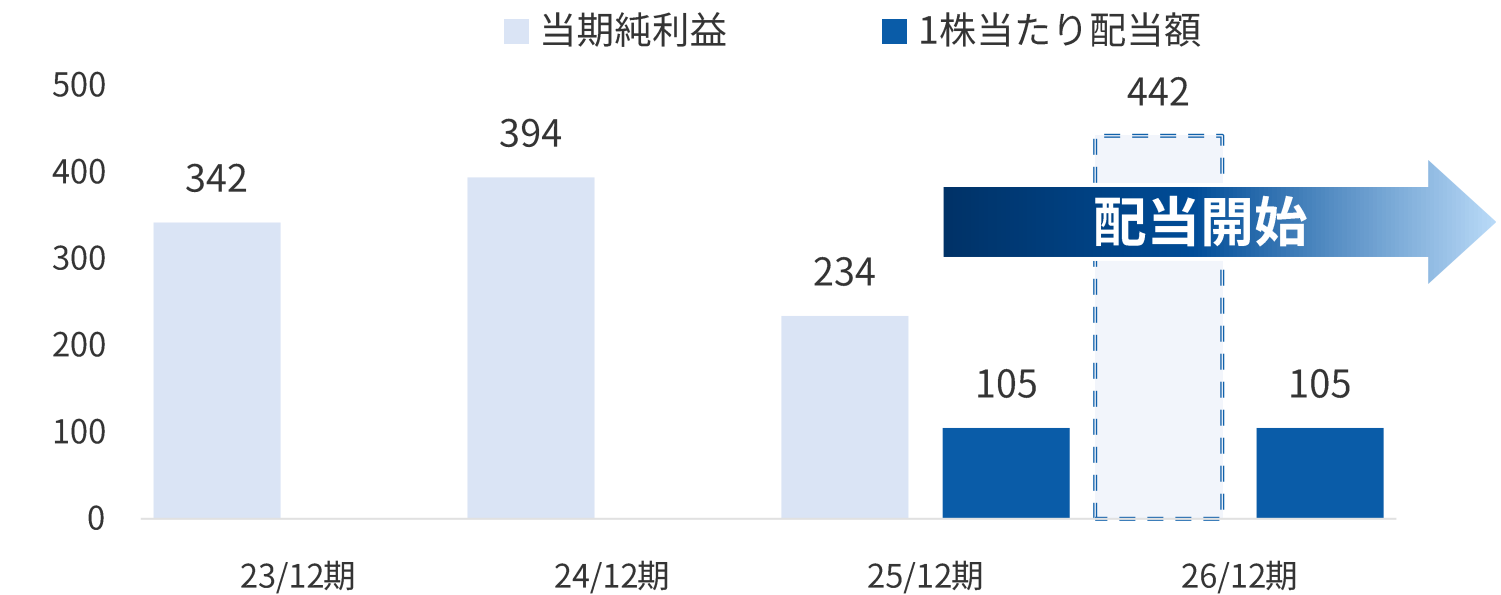
03

2026年2月13日公表の業績予想からの変更はございません

(百万円)	2025年12月期 通期実績	2026年12月期	
		通期予想	YoY
売上高	6,716	7,535	12.2%
↳システムインテグレーション	6,607	7,405	12.1%
↳クラウドサービス	108	130	20.0%
売上総利益	1,296	1,715	32.3%
営業利益	324	617	90.3%
営業利益率	4.8%	8.2%	3.4pt
経常利益	363	660	81.6%
当期純利益	234	442	89.0%



2026年2月13日公表の配当予想からの変更はございません



(百万円)	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期
当期純利益	342	394	234	442
配当性向	-	-	62.6%	33.3%
配当額	0	0	105円	105円

株主還元方針

105円

2026年2月18日開催 決算説明会より
営業利益が今期業績予想を上回った場合は、
配当性向を35%に引き上げて
増配する予定です。

A I 成長戦略 進捗状況

04

Anthropic社とのパートナーシップ強化へ

新設のCertifiedを足がかりに、Select以上の正式パートナー認定を目指す



1 階層が新設された

Certifiedが新設され、認定者3名以上で最初の階層に到達、顧客実績・事例は不要

2 昇格が早くなった

Certified・Selectは月次審査（2026年11月開始）
飛び級も可能

3 降格は年次審査が基本に

期中の即降格は廃止
降格は年1回（12月31日）の審査が原則

Selectの要件達成に向け、認定者の育成と導入実績づくりを並行して推進

現在はRegistered、Certified、Selectへの昇格を目指す

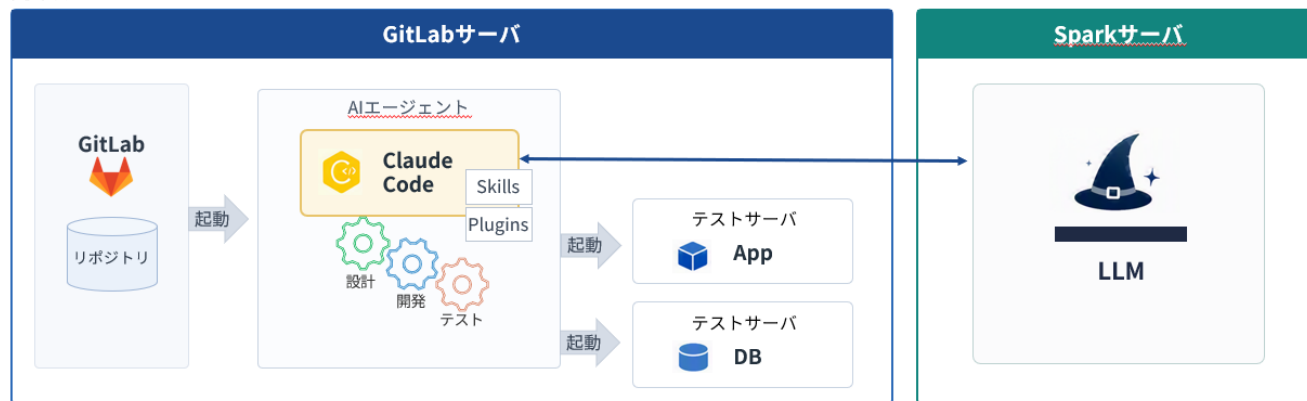


認定者の育成と、導入案件での活用実績の積み上げを並行して進め、Certified、Selectへの昇格を目指す

AI駆動型開発基盤「Nova Spark」：実案件の検証で設計・実装・結合テスト工程を約1/3に 検証と改善を重ね、さらなる性能向上への取組みを継続

Nova Sparkとは

Claude Codeを中心としたAIエージェントが、設計～テストを自動で実行する開発基盤。
自社内のSparkサーバを使用するため、自社内完結でAI駆動開発を進めることができる点が特徴。



Nova Sparkの構成イメージ

実施済み

① 1回目の実行
9月

② 課題の改善
9月末～10月上旬

③ 2回目の実行
10月上旬～中旬

これから

④ 結果のレビュー
現在地

⑤ 3回目の実行
実案件で検証を継続

※「Nova Spark」は商標登録出願中です。

実案件での検証結果

約 1/3

サンプル採用した過去の開発案件と比べた工数
※ただし、技術者によるレビュー作業を除く

過去の開発案件

設計・実装・結合テスト

6人月

Nova Spark

設計・実装・
結合テスト

2人月

約1/3の期間で同レベルの
成果物が完成する見込み



Q & A

05

第3四半期までの進捗について

Q1 第3四半期累計の通期進捗率は、売上高71.3%、営業利益70.4%です。通期予想に対して、順調と見てよいでしょうか。

A 2月13日公表の通期業績予想は、上期は一部案件の開発コストを保守的に計上し、下期にかけては、採用増と共に、より一層収益拡大が見込める案件を取り込んでいく「成長モード」を前提とした予算設計（売上高・利益共に段階的に増加していく設計）としておりました。

そのため、第3四半期累計で約7割という進捗度は、概ね想定の範囲内と認識しております。
なお、各段階利益（営業利益・経常利益・当期純利益）につきましては、通期予想を達成する見込みであります。

一方、下期の状況につきましては、8月の決算説明会時にお伝えした見方に変化が生じており、その背景等につきましては、Q2に記載いたします。

8月説明会時からの状況の変化について

Q2 8月の決算説明会では、下期は期初予想どおりを見込むとのことでしたが、状況に変化があったのでしょうか。

A 8月時点のご説明から状況に変化が生じたので、背景をご説明いたします。

8月時点では、下期も期初予想どおりに進行する状況にあり、成長モードの予算設計のもと、下期計画の水準（営業利益率10%超）まで到達できる手ごたえを持っておりました。

その後、第3四半期末にかけて、ある案件におきまして、お客様のご要望や追加要件、当社担当領域の開発を進める上で必要な資材の提供遅延等、案件進行上の外的要因を受け、スケジュールの延伸が発生いたしました。当初9月末の終了を予定していた作業が延伸となることで、当該案件に携わる要員について、当初想定していた別案件へのアサインができなくなり、配置計画の見直しが必要となりました。

また、10月に入り、当社が利用している外部のクラウドサービス事業者が第三者によるサイバー攻撃を受け、当社の提供する一部のサービスに障害が生じ、その対応が必要となりました（Q6参照）。当社に直接の原因があるものではありませんが、本来必要のなかった対応が発生したことは、望ましい状況とは言えないものと認識しております。これらが、下期の状況を従来より慎重に見ている主な要因となっております。

繰り返しとなりますが、通期の各段階利益（営業利益・経常利益・当期純利益）につきましては、通期予想を達成する見込みであり、第4四半期における積み上げに引き続き取り組んでおります。

特別損失、配当について

Q3 特別損失の内容と、当期純利益への影響を教えてください。

A 特別損失は第3四半期累計で27百万円で、その主な内訳は、第1四半期で計上した役員退職慰労金22百万円、第3四半期で計上した関係会社株式評価損4百万円です。

当期純利益は、この特別損失の影響を受けますが、営業利益の積み上げ・財務の両面から必要な施策を講じ、通期予想を達成する見込みであります。

Q4 配当予想の105円は維持されますか。

A 配当予想は105円で、変更はございません。

P.15に記載の、営業利益が通期予想を上回った場合は、配当性向を35%に引き上げて増配する方針にも変更はございません。

来期の見通し、中期事業計画

Q5 来期の見通しと、2027年からの新しい中期事業計画について教えてください。

A 2030年に向けた新中期事業計画は、2027年2月の通期決算発表にあわせてお示しする予定で、来期2027年12月期の計画も、その中で策定を進めております。

サイバー攻撃・PHP脆弱性への対応について

Q6 クラウド事業者へのサイバー攻撃や、PHPの脆弱性による影響はありますか。

A 当社が利用しているクラウドサービス事業者の基盤が、第三者によるランサムウェア攻撃を受けた影響で、当社の提供する一部のサービスに障害が生じました。

お客様には、ご迷惑とご心配をおかけいたしました。復旧に向けた対応は順次進んでおり、お客様情報につきましても、クラウド事業者より、外部へのデータ流出はなかったと判断した旨の報告を受けております。

また、10月21日～22日にかけて判明したPHPの脆弱性についても、影響を受ける可能性のある提供サービスの確認と対応を順次進めております。

当社としましても、さらなるセキュリティの向上に万全を期してまいります。

Appendix

06

(百万円)	2025年12月期末	2026年12月期 3Q末	
		実績	増減
流動資産	1,994	2,025	31
現金及び預金	732	737	5
売掛金及び契約資産	1,198	1,188	△10
その他	63	101	38
貸倒引当金	△0	△2	△2
固定資産	2,093	2,174	81
有形固定資産	1,353	1,441	88
建物、構築物	899	978	79
工具、器具及び備品	30	43	13
土地	411	411	-
その他	12	8	△4
無形固定資産	6	4	△2
投資その他の資産	732	728	△4
投資有価証券	508	511	3
その他	223	216	△7
資産合計	4,087	4,199	112

(百万円)	2025年12月期末	2026年12月期 3Q末	
		実績	増減
流動負債	1,042	1,198	156
買掛金	193	207	14
1年内返済予定の 長期借入金	376	465	89
その他	473	525	52
固定負債	492	478	△14
長期借入金	307	328	21
資産除去債務	48	91	43
その他	136	57	△79
負債合計	1,535	1,676	141
資本金	298	298	-
資本剰余金	286	286	-
利益剰余金	1,661	1,791	130
自己株式	△6	△83	△77
その他 有価証券評価差額金	312	230	△82
純資産合計	2,551	2,523	△28
負債・純資産合計	4,087	4,199	112

(百万円)	2026年12月期 3Q実績（累計）	YoY 前年同期比	過去実績	
		増減率	2025年12月期3Q（累計）	2024年12月期3Q（累計）
売上高	5,374	7.8%	4,984	4,744
システムインテグレーション	5,285	7.8%	4,900	4,679
クラウドサービス	89	6.7%	83	65
売上原価	4,108	0.3%	4,094	3,731
売上総利益	1,265	42.2%	890	1,012
販売費及び一般管理費	831	14.0%	729	682
営業利益	434	170.4%	160	329
営業利益率	8.1%	4.9Pt	3.2%	6.9%
営業外収益	25	0.1%	25	13
営業外費用	10	86.2%	5	3
経常利益	448	149.3%	179	339
特別利益	1	210.4%	0	-
特別損失	27	-	-	-
当期純利益	287	139.5%	120	230

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。